

大野城市個別施設計画（学校・文化財関連施設）【概要版】

2019年（令和元年）度～2028年（令和10年）度

平成31年3月（令和6年4月 改定）

1. 計画の概要と期間【本編P2、P3】

計画の概要	● 本計画は、「大野城市公共施設等マネジメント計画」で示した施設別の改修周期と、概算事業費に基づき、施設の特徴や各種の状況を考慮した改修内容や改修期間などの検討を行い、施設ごとの個別の計画を策定したものの。
計画期間	● 2019年（令和元年）度から2028年（令和10年）度までの10年間。

2. 学校施設の目指すべき姿【本編P34】

◆安全・安心な教育環境づくり

- ・老朽化した学校施設の改修を計画的に実施していくとともに、点検等を定期的に行い、誰もが安全に利用できるような施設の整備に取り組むことが必要。

◆地域の拠点となる学校施設づくり

- ・将来人口や児童生徒数の動向を踏まえ、公民館等との複合化や特別教室等を生涯学習の場として積極的に利用、小学校運動場の公園の利用など地域に開かれた施設として整備を進めることが必要。合わせて防犯面や管理面を含めた体制づくりの検討を行うことが必要。

◆人や環境にやさしく利用しやすい学校づくり

- ・トイレの洋式化や多目的トイレの設置、空調設備の整備など、児童・生徒だけでなく、職員や地域住民、障がいのある方にも利用しやすい施設としての整備・充実を図ることが必要。
- ・また、省エネルギー対応の設備機器の更新により、環境負荷や維持管理コストの低減を図るとともに、学校施設を利用した環境教育に資する施設の整備を進めることが必要。

3. 個別施設計画の基本方針【本編P36】

◆計画的な改修による長寿命化の推進

- ・これまでの改修状況や劣化状況に応じた改修を計画的に行い、施設の長寿命化を図る。
 - ・予防保全の考え方に基づく適切な維持管理により財政負担の平準化及びライフサイクルコストの削減を目指す。
- ※ライフサイクルコスト：企画・設計から建設・維持・管理・解体に至る過程で必要な経費の合計額。

◆学校規模の適正化と複合化の推進

- ・更新の際は留守家庭児童保育所の併設や公民館や老人憩の家との複合化、近接する小中学校の一体化等を検討し、学校規模の適正化を進める。

◆学習環境、生活環境に合わせた施設整備の推進

- ・少子化が進行する中、学校施設の長寿命化や更新にあたっては、時代に求められる教育内容や、指導方法等の変化に適切に対応することに留意するとともに、バリアフリーや省エネなど生活環境に合わせた整備を進める。

4. 改修等の整備水準【本編P40～41】

改修等の整備水準	● 一定の質を確保する目的で改修等の整備水準を設定する。 ● 各学校や棟ごとに築年数や老朽化の程度が異なることから、改修内容は、劣化調査の結果を踏まえて選定する。
維持管理の項目と手法	● 施設の所管課や管理者は自主点検（外部委託等を含む）を年1回以上実施するものとする。 ● 具体的な点検項目や手法は、大野城市公共建築物自主点検基本要領等を参考に実施する。

5. 概算工事費【本編P42、P60、P72】

◆改修単価設定の考え方

- ・対象施設に改修実績があり、改修工事費用が明確になっている場合や、同種の工事実績資料等がある場合は、その費用を使用。
- ・工事実績資料が無い場合は、「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集（公益社団法人ロングライフビル推進協会）（令和2年改訂版）」掲載単価をデフレーターで調整した単価を使用。

◆概算工事費の算出条件

使用単価	算出単位	優先度
大野城市改修工事実績費用	施設当 延床面積当	1
「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集（公益社団法人ロングライフビル推進協会）」単価	数量当	2

■事業スケジュール

【学校施設】2019年（令和元年）度～2028年（令和10年）度

（実施時期は年度 / 単位：百万円 百万円未満は四捨五入）

[小学校]

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)		2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
大野小学校	当初計画		14		219	117	当初計画	146		51	46	78
	実績		14		0	131	見直計画	6		11	183	212
大野北小学校	当初計画		128	202	53		当初計画	0	47	3	0	0
	実績		0	0	0		見直計画	3	0	378	334	264
大野南小学校	当初計画			34	40	10	当初計画				0	0
	実績			0	3	0	見直計画				11	76
大野東小学校	当初計画		10			3	当初計画	0	141	181		41
	実績		0			8	見直計画	81	0	7		0
大和利小学校	当初計画	43	0	21	75	10	当初計画			0	0	
	実績	0	4	0	0	1	見直計画			11	22	
平野小学校	当初計画		14		95		当初計画	10		0		
	実績		0		15		見直計画	0		11		
大城小学校	当初計画	195	4		37	48	当初計画		0		0	
	実績	188	3		0	0	見直計画		2		82	
下大和利小学校	当初計画	177	292	160	17		当初計画	39	39	10		
	実績	159	268	138	0		見直計画	0	0	12		
御笠の森小学校	当初計画		1	0	10	193	当初計画	198	40	40	0	0
	実績		0	1	0	17	見直計画	0	0	138	147	160
月の浦小学校	当初計画	226	207	265	0		当初計画				0	
	実績	283	161	0	232		見直計画				24	
小学校 計	当初計画	641	670	682	546	381	当初計画	393	267	285	46	119
	実績	630	450	139	250	157	見直計画	90	2	568	803	712

※各事業の実施年度及び予算額については、毎年実施する自主点検の結果や、社会情勢等により、変更する場合があります。

※令和元～4年度は実績、令和5年度は予算、令和6～10年度は見直計画の金額を記載。

※劣化状況等に基づき、各小学校の改修年度の調整を実施。

⇒（例1）大野小学校の校舎改修を令和4～6年度から令和9～12年度へ見直し

⇒（例2）御笠の森小学校の校舎改修を令和5～6年度から令和8～10年度へ見直し

[中学校]

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)		2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
大野中学校	当初計画	8					当初計画	0	0			10
	実績	8					見直計画	81	100			0
大野東中学校	当初計画		0	31	12	87	当初計画	0	0	55	155	155
	実績		1	0	29	0	見直計画	79	106	104	122	9
大利中学校	当初計画	12	75	75	5	0	当初計画	10	60			0
	実績	12	64	79	0	2	見直計画	0	0			5
平野中学校	当初計画		1			64	当初計画	64		164	262	193
	実績		0			0	見直計画	0		0	76	105
御陵中学校	当初計画	146	1		10		当初計画					18
	実績	23	124		1		見直計画					0
中学校 計	当初計画	166	77	106	27	151	当初計画	74	60	219	417	376
	実績	43	189	79	30	2	見直計画	160	206	104	198	119

※各事業の実施年度及び予算額については、毎年実施する自主点検の結果や、社会情勢等により、変更する
場合がある。

※令和元～4年度は実績、令和5年度は予算、令和6～10年度は見直計画の金額を記載。

※劣化状況等に基づき、各中学校の改修年度の調整を実施。

⇒（例）平野中学校の屋内運動場改修を令和5～6年度から令和9～10年度へ見直し

【文化財関連施設】2019年（令和元年）度～2028年（令和10年）度

（実施時期は年度 / 単位：百万円 百万円未満は四捨五入）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)		2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
梅頭窯跡覆屋	当初計画						当初計画				3	4
	実績						見直計画				9	0
大池文化財 収蔵庫	当初計画						当初計画					0
	実績						見直計画					19
水城ゆめ広場 便所	当初計画						当初計画					
	実績						見直計画					
合計	当初計画	0	0	0	0	0	当初計画	0	0	0	3	4
	実績	0	0	0	0	0	見直計画	0	0	0	9	19

※各事業の実施年度及び予算額については、毎年実施する自主点検の結果や、社会情勢等により、変更する
場合がある。

※令和元～4年度は実績、令和5年度は予算、令和6～10年度は見直計画の金額を記載。

6. 長寿命化計画の継続的運用方針【本編P61～64】

推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none">● 各小中学校と協力しながら効率的・継続的に学校施設の維持管理を行い、必要な改修に取り組む。● 他の公共施設の長寿命化計画等の関係や財政状況、改修の検討状況、施設の統廃合等、担当部局のみで対応することが困難な課題に対しては、市として統一的な考え方を持ったうえで、長寿命化計画を推進する体制を充実させる。
財源の確保	<ul style="list-style-type: none">● 学校施設等の資産データを活用しながら、適正な施設マネジメントを行い、財政支出の縮減を図る。● 学校施設を適切に長寿命化していくために、現在、公表されている交付金等に加え、今後臨時的に設立される交付金等の動向をみながら活用を検討する。
フォローアップ	<ul style="list-style-type: none">● 本計画に基づき、効率的かつ効果的な施設整備を進めていくため、「Plan（計画の見直し・更新）」「Do（計画の実行）」「Check（結果の検証）」「Action（改善策の検討）」といったPDCAサイクルの確立。● 財政計画等と連動した着実な推進。● 事業の進捗状況、定期的・法定的な点検から得られる老朽化に関する状況・評価等の結果を踏まえながら、おおむね10年ごとの見直し（中間見直しはおおむね5年ごと）。

大野城市個別施設計画（学校・文化財関連施設）

〒816-8510 福岡県大野城市曙町二丁目2-1
大野城市 教育委員会教育部 教育政策課 【直通】 092-580-1903